

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	八戸市						
地域内総人口（人）	211, 133						
地域総面積（km ² ）	305. 56						
地域の要件	人口	豪雪					
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和7年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口（人）					
排出量	事業系ごみ排出量（トン）				0%
	生活系ごみ排出量（トン）				0%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	0	0	0	0%
	その他排出量（集団回収等）				0%
	総排出量（トン）	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量（トン）				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）				
	年間の熱利用量（GJ）				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		令和元年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	122,756人	46.7%	130,254人	62.3%	124,481人	59.0%
	農業集落排水施設等	3,509人	1.3%	3,207人	1.5%	3,323人	1.6%
	合併処理浄化槽等	31,028人	11.8%	31,534人	15.1%	29,337人	13.9%
	小計：汚水衛生処理人口	157,293人	59.8%	164,995人	78.9%	157,141人	74.4%
	単独処理浄化槽等	36,392人	13.8%	23,750人	11.4%	33,782人	16.0%
	非水洗化人口	69,248人	26.3%	20,343人	9.7%	20,210人	9.6%
	小計：未処理人口	105,640人	40.2%	44,093人	21.1%	53,992人	25.6%
	合計：総人口	262,933人	100.0%	209,088人	100.0%	211,133人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量					2,276,625キロリットル	参考 参考
	浄化槽汚泥量					5,085,555キロリットル	
	合計	キロリットル		キロリットル		7,362,180キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	
オ. 処理形態別人口に関する事項	
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	
その他	【浄化槽設置整備事業】 (施策の概要) ・既設の単独処理浄化槽又は既設の汲み取り便所を廃止し合併処理浄化槽に設置替えを行う者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより合併浄化槽への転換を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁削減を目的とする。 (施策の状況) ・計画基数：156基 ・実績基数：100基（令和2年度24基, 令和3年度20基, 令和4年度22基, 令和5年度18基, 令和6年度16基）

4 目標の達成状況に関する評価

【生活排水処理目標の状況】 (公共下水道) ・公共下水道接続人口は、目標130,254人に対して、実績は124,481人であった。 達成率は95.5%となり目標を達成できなかった。 (農業集落排水施設) ・集落排水施設接続人口は、目標3,207人に対して、実績は3,323人であった。 達成率は103.6%となり目標を達成した。 (合併処理浄化槽) ・合併処理浄化槽利用人口は、目標31,534人に対して、実績は29,337人であった。 達成率は93.0%となり目標を達成できなかった。 (未処理人口) ・未処理人口は、目標44,093人に対して、実績は53,992人であった。 22.4%超過し目標を達成できなかった。 【評価】 ・公共下水道接続人口、合併処理浄化槽人口及び未処理人口について目標を下回ったものの着実に未処理人口の削減を進めることができた。 公共下水道の整備及び浄化槽の整備について一定の進捗があったと考える。 今後も未処理人口を削減し、水質汚濁の防止を図るべく、公共下水道の整備を進め、浄化槽設置整備事業を引き続き実施していく。
(都道府県知事の所見) 浄化槽設置基数、合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理人口普及率はいずれも目標を達成できなかったものの、汚水衛生処理人口普及率は計画当初よりも向上し、目標に対して9割を達成しており、未処理の汚水処理人口の解消に一定の進捗があったと評価できる。 今後も浄化槽設置整備事業を着実に実施し、計画的・効率的に浄化槽の普及を進めるとともに、生活環境の保全に係る啓発等の取組を進め、残る未処理人口の早期解消及び生活環境の保全に努めていくことが重要と考える。

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。